



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション
 コード番号 9385 URL <http://www.shoei-corp.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 有村 芳文

TEL 06-6233-2636

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,903	8.2	260	129.2	267	176.8	179	183.7
2020年3月期第1四半期	4,530	4.4	113	24.1	96	30.1	63	9.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 164百万円 (713.4%) 2020年3月期第1四半期 20百万円 (75.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	28.69	
2020年3月期第1四半期	9.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	9,260	2,735	29.5	438.14
2020年3月期	9,037	2,695	29.8	431.81

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 2,735百万円 2020年3月期 2,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		20.00	20.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,861	9.1	869	38.4	833	31.7	541	33.4	86.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,850,000 株	2020年3月期	6,850,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	606,700 株	2020年3月期	606,700 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,243,300 株	2020年3月期1Q	6,531,116 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、緊急事態宣言が出され、経済活動の急速な収縮により、景気は後退局面に入り、極めて厳しい状況で推移いたしました。先行きにつきましては、感染拡大の第2波、第3波への懸念が高まっており、収束時期が不透明な状況の中、動向によっては予断を許さない状況が続くものと考えております。

個人消費におきましては、緊急事態宣言下での不要不急の外出自粛や在宅勤務等の影響により、生活費の負担は増加し、節約意識は高まる傾向にありますが、一方で感染予防関連商品や巣ごもり消費関連商品は堅調に推移しており、新しい生活様式への対応から消費者のライフスタイル、消費動向は大きく変化してきております。

またこのような状況下において、当社グループを取り巻く環境は、レジ袋有料化が開始されるなど脱プラスチックが本格稼働し、環境問題への意識の高まりなどを受け、環境への負荷をできるだけ抑える取り組みをしていくことが急務となってきております。

当社グループとしては、「人や環境にやさしい商品作りのできる、高収益で成長力のある会社」を目指す上で、従来の事業セグメントである「パッケージ事業」「メディアネットワーク事業」「日用雑貨品事業」を、今期より「営業促進支援事業」「商品販売事業」に変更し、目指す姿に進む戦略を明確にいたしました。「営業促進支援事業」は、お客様自身の営業を一層促進していただくために、パッケージをはじめ企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をさせていただく事業であり、「商品販売事業」は、100円ショップやドラッグストア、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供させていただく事業であります。

当社としては、この2つの事業の製品・商品は親和性が高いものであり、当社がこれまで培ってきた企画力、調達力、商品開発力を活かして、それぞれの事業セグメントに適した商品・製品開発を進めることにおいて、競合他社に対して優位であり、一步リードでき、特に商品・製品開発の「要」は充填セットであると位置付けております。当第1四半期連結累計期間は新型コロナウイルス感染症の感染拡大や脱プラスチック問題が生じる中、「美と健康、安全、安心な快適生活をサポートする」を目指して対処し、売上面で「営業促進支援事業」では化粧品、雑貨品の充填セット売上が前年同期比69.0%増、販促支援の企画提案による仕入品売上が前年同期比7.4%増、「商品販売事業」では100円ショップ向け売上が前年同期比15.5%増、量販店向け売上が前年同期比49.9%増となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,903百万円（前年同期比8.2%増）となりました。利益面につきましては、前第3四半期連結会計期間からタイ子会社の利益が回復したことにより売上総利益率が改善したことや人件費をはじめとする経費が抑えられたことで、営業利益は260百万円（前年同期比129.2%増）、経常利益は267百万円（前年同期比176.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は179百万円（前年同期比183.7%増）となり前年同期に比べ大幅な増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を再編しました。それに伴い、以下の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

（営業促進支援事業）

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、パッケージをはじめ企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をさせていただく事業であります。新型コロナウイルスの感染拡大によって、各種イベントの中止や延期、販促品キャンペーンの自粛、旅行業界をはじめとするDM発送のキャンセルや中止により封入封緘、物流の売上が落ち込む厳しい状況下でありましたが、お客様の商品の販売に対する販促支援を企画から提案する営業形態が徐々に成果を上げてきたこと、充填セット案件の獲得においても化粧品や雑貨品の受注が増えてきており、売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は2,634百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は232百万円（前年同期比56.5%増）となりました。

(商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストア、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供させていただく事業であります。新型コロナウイルスの感染拡大により、マスク、ポリ手袋、除菌クリーナーといった衛生用品が好調であったこと、家庭における巣ごもり消費の影響でフリーザバッグやキッチンパック、鮮度保持袋といったポリ製品が好調であったこと、また7月からのレジ袋有料化への前倒しの影響から手提げ袋、レジ袋、ゴミ袋が好調に推移しました。また量販店中心に感染予防関連商品の取引量を拡大したことにより売上高及びセグメント利益は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は2,265百万円(前年同期比14.6%増)、人件費を中心に販管費が抑えられたことで、セグメント利益は165百万円(前年同期比98.9%増)となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、物流倉庫の賃貸を行っており、売上高は6百万円(前年同額)、セグメント利益は4百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は9,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金等が減少したものの、現金及び預金、商品及び製品、投資その他の資産等が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は6,524百万円となり、前連結会計年度末に比べ183百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金等が減少したものの、短期借入金等が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は2,735百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円増加しました。これは主に利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

(当社グループにおける新型コロナウイルス感染症の影響について)

当社グループにおける新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響については、当社グループの主要な商品・製品・原材料が中国、タイ等海外から調達しているため、現地の状況が懸念されておりますが、中国の協力工場は今年2月の閉鎖状態が解除された以降ほぼフル稼働状態が継続しており、連結子会社のタイ工場においても、未だ緊急事態宣言が発令されているものの、タイ政府の方針に従い安全対策を実施し操業を継続しており、海外での生産、供給体制に大きな支障は出ておりません。

国内においても生産・ロジスティクス部門は、引き続き必要な感染予防対策を継続、徹底したうえで通常通りの製造・配送体制を維持し、安定供給に努めております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	874,423	1,014,015
受取手形及び売掛金	2,852,506	2,611,030
電子記録債権	331,252	452,196
商品及び製品	1,613,902	1,787,126
仕掛品	173,423	127,169
原材料及び貯蔵品	88,719	98,380
その他	403,504	410,532
貸倒引当金	△1,324	△1,308
流動資産合計	6,336,406	6,499,142
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,125,075	1,125,075
その他(純額)	839,760	812,265
有形固定資産合計	1,964,835	1,937,340
無形固定資産		
その他	151,659	146,029
無形固定資産合計	151,659	146,029
投資その他の資産		
その他	618,859	711,908
貸倒引当金	△34,221	△34,247
投資その他の資産合計	584,638	677,661
固定資産合計	2,701,133	2,761,031
資産合計	9,037,539	9,260,174
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,979,579	1,506,296
短期借入金	2,970,000	3,710,000
1年内返済予定の長期借入金	109,300	103,800
未払法人税等	137,684	64,321
未払消費税等	109,155	50,823
賞与引当金	111,393	68,237
その他	315,425	402,801
流動負債合計	5,732,537	5,906,280
固定負債		
長期借入金	142,850	116,900
退職給付に係る負債	39,936	39,533
長期末払金	144,212	144,212
その他	282,067	317,795
固定負債合計	609,065	618,441
負債合計	6,341,603	6,524,721

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	229,400	229,400
資本剰余金	175,478	175,478
利益剰余金	2,358,283	2,412,556
自己株式	△289,380	△289,380
株主資本合計	2,473,780	2,528,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,511	160,920
繰延ヘッジ損益	27,383	14,047
為替換算調整勘定	81,261	32,430
その他の包括利益累計額合計	222,155	207,398
純資産合計	2,695,936	2,735,452
負債純資産合計	9,037,539	9,260,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,530,772	4,903,937
売上原価	3,660,610	3,874,295
売上総利益	870,162	1,029,641
販売費及び一般管理費	756,487	769,098
営業利益	113,674	260,543
営業外収益		
受取利息	2	36
受取配当金	2,784	3,101
為替差益	5,064	22,527
資材売却収入	1,387	854
その他	446	54
営業外収益合計	9,686	26,574
営業外費用		
支払利息	10,132	6,230
デリバティブ評価損	12,719	10,030
その他	3,724	3,006
営業外費用合計	26,576	19,266
経常利益	96,783	267,850
特別利益		
固定資産売却益	1,141	-
特別利益合計	1,141	-
特別損失		
固定資産売却損	139	-
特別損失合計	139	-
税金等調整前四半期純利益	97,786	267,850
法人税、住民税及び事業税	891	59,136
法人税等調整額	33,760	29,575
法人税等合計	34,652	88,711
四半期純利益	63,134	179,138
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,134	179,138

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	63,134	179,138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,720	47,409
繰延ヘッジ損益	△818	△13,335
為替換算調整勘定	13,613	△48,831
その他の包括利益合計	△42,924	△14,757
四半期包括利益	20,209	164,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,209	164,381

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	営業促進 支援事業	商品販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,554,611	1,970,161	4,524,772	6,000	4,530,772
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	7,260	7,260	-	7,260
計	2,554,611	1,977,421	4,532,032	6,000	4,538,032
セグメント利益	148,628	83,360	231,988	4,413	236,402

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	231,988
「その他」の区分の利益	4,413
セグメント間取引消去	13,857
全社費用(注)	△136,585
四半期連結損益計算書の営業利益	113,674

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	営業促進 支援事業	商品販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,634,126	2,263,810	4,897,937	6,000	4,903,937
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1,882	1,882	-	1,882
計	2,634,126	2,265,692	4,899,819	6,000	4,905,819
セグメント利益	232,593	165,806	398,399	4,303	402,703

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	398,399
「その他」の区分の利益	4,303
セグメント間取引消去	△250
全社費用(注)	△141,908
四半期連結損益計算書の営業利益	260,543

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2020年4月より事業効率の最適化及び当社の経営管理の実態に合わせ、報告セグメントを従来の「パッケージ事業」、「メディアネットワーク事業」及び「日用雑貨品事業」の3区分から、「営業促進支援事業」及び「商品販売事業」の2区分に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。